



★ 非常持ち出し品の準備

地震などの災害に対する日頃からの備えとして、避難しなければならないときに持ち出す非常持ち出し品や備蓄品が、武力攻撃などが発生し避難しなければならない場合においても大変役立ちます。下の持ち出し品を目安に、ご家庭の備えをもう一度見直しましょう。

非常持ち出し品

携帯用飲料水
食品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
貴重品（預金通帳、印鑑、現金など）
パスポートや運転免許証
緊急用品
ヘルメット、防災ずきん
軍手（厚手の手袋）
懐中電灯
衣類（セーター、ジャンパー類）
下着
毛布
携帯ラジオ・予備電池
マッチ、ろうそく（水にぬれないようにビニールでくるむ）
使い捨てカイロ
ウエットティッシュ
筆記用具（ノート、えんぴつ）

小さな子どもが
いる家庭は
ミルク
紙おむつ
ほ乳びん



さらに、新聞紙や大きなゴミ袋は、防寒や防水に役立ちますので、備えておくとういでしょう。

数日間を自足できるようにするための備蓄品（3日分が目安）

飲料水	9リットル（3リットル×3日分）
ご飯（アルファ米*）	4～5食
ビスケット	1～2箱
板チョコ	2～3枚
缶詰	2～3缶
下着	2～3組
衣類	スウェット上下、セーター、フリースなど



*アルファ米…一度炊いた米を乾燥させたもので、お湯や水を注ぐだけで食べられ、非常食としても活用できる。

5 救 援

町は、県などの関係機関の協力を得て、収容施設の設置、食料・飲料水の提供などの救援活動を行います。

